

週刊 タバコの正体

タバコの白い煙は見えなくても、ニオイを感じることはあります。例えば屋内の喫煙室は誰もいなくても、タバコのニオイがします。日常的にタバコの煙が充満する部屋には、タバコのニオイが染みついていますからね。

じつは、タバコの煙の粒子は非常に小さく、その直径は0.01~0.001 μ m だそうです。目には見えるはずがありませんがニオイは感じるのですから、その粒子は鼻を経由して体内に入っているわけです。だから、タバコ臭い部屋に長時間いると、気分が悪くなったり頭痛がしたりする事もあります。

このように、火のついたタバコの煙ではなく、下図にあるようなニオイを嗅がされる事を「サードハンドスモーク(Third-hand smoke)」と言い、「残留受動喫煙」または「三次喫煙」と呼ばれる事もあります。ちなみに火のついた他人のタバコを吸わされる「受動喫煙」は英語で「セカンドハンドスモーク(Second-hand smoke)」と言います。

タバコは、場所によって吸い終わった後も有害物質が残ってしまいます。タバコの健康被害をなくするために、この事もしっかり覚えておいて下さい。

産業デザイン科 奥田 恭久

サードハンドスモークの例



たばこを吸い終わった喫煙者にも、たばこの有害成分は付着しています。

